

週間感染症情報

2023年45-47週 2023年11月6日より2023年11月26日まで

45週 46週 47週

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)			
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症	9	9	11
手足口病	3		1
ヘルパンギーナ			
伝染性紅斑			
感染性胃腸炎	41	31	49
ロタウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)			
突発性発疹	3	1	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	3	2	2
ヘルペス性口内炎			
アデノウイルス感染症	36	21	27
RSウイルス感染症			
マイコプラズマ感染症			
ヒトメタニューモウイルス			
インフルエンザ	105	250	335
インフルエンザ A	65	211	207
インフルエンザ B	0	0	1
新型コロナウイルス感染症	14	7	15

45-47週3週間の報告です。新型コロナウイルス感染症は減少しましたがゼロにはなりません。全国的にみてもも踏みどどまっていますが、今後人流の増加に伴い増加する可能性が高いです。

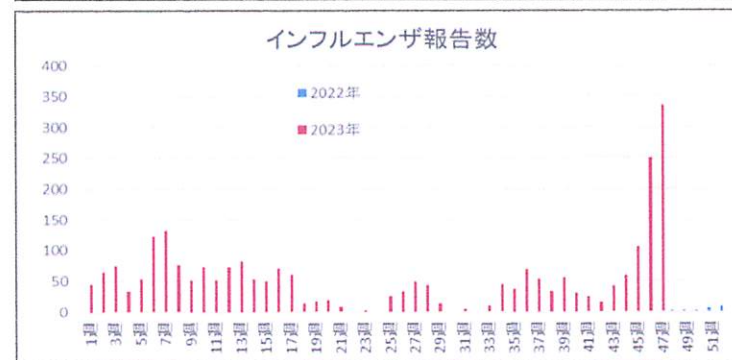
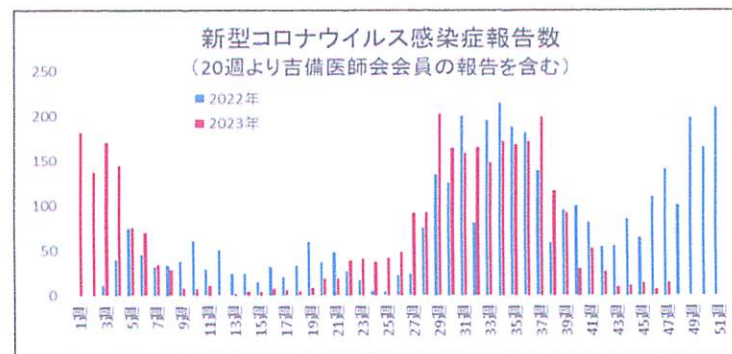
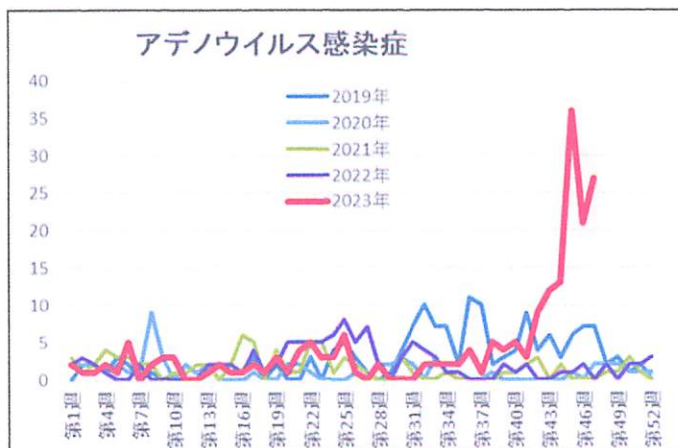
インフルエンザは45週から報告数が急激に増加して47週は335とコロナ前の水準に達しています。家族内感染を介して中学校から小学校さらに乳幼児へと拡大しており、臨床診断が増えています。ほぼA型で、B型は1例でした。A型に2回感染する症例もみかけます。AH3とAH1 pdm09と2種類のウイルスが流行しているようです。ピークはまだみえてきません。嘔吐から始まるノロウイルスと思われる胃腸炎が増えてきました。左下のグラフの様に、市内でも、43週よりアデノウイルス感染症の報告が10例を超えて増加しています。全例を検査をしているわけではないので、実数はもっと多いと思います。

体調不良の場合は休み

手洗い・換気に努めて下さい。

密な環境・公共交通機関では

マスクの着用をぜひお願いします。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)